

3-7 図書館及び図書・電子媒体等

A群・図書、学術雑誌、視聴覚資料、その他教育研究上必要な資料の体系的整備とその量的整備の適切性

A群・図書館施設の規模、機器・備品の整備状況とその適切性、有効性

A群・学生閲覧室の座席数、開館時間、図書館ネットワークの整備等、図書館利用者に対する利用上の配慮の状況とその有効性、適切性

A群・図書館の地域への開放の状況

B群・学術情報の処理・提供システムの整備状況、国内外の他大学との協力の状況

大学全体としての図書館の他に専用棟の1階に図書資料室を設置している。蔵書は、会計・監査・税法等に関する参考図書（約1,700冊）、雑誌（90タイトル：約2,600冊）、関連する各種CD-ROM等を備えて学生の利便に供している。これらの図書や雑誌は青山学院大学の蔵書として登録されており、図書検索システムOPACから検索が可能である。ただ、この図書室は入退出の機械的チェックシステムを備えておらず、貸出・返却も機械化されていない。このため、紛失防止、貸出中図書、返却延滞などのチェックが困難であり、早急な対応策が望まれている。また、本研究科には公認会計士等資格取得をめざす学生が多いので、多くの学生が同じ図書、雑誌を必要とすることが多い。本学の規則によれば、基本的には同一図書を複数購入することはできないことになっているが、学生からは使用頻度の高い図書、雑誌については複数冊の備置を求める声が強い。検討を要する課題である。

本研究科の図書資料室では予算枠、管理能力、大学図書館との関連などの理由から、データベースや電子媒体はまだ導入していない。